

「電力に色が付く」新手法

みんな電力（東京・港、大石英司社長）は、京都大学大学院情報科学研究科の梅野健教授が発明した力オスCDMA符号化技術を用いて「電力産地表記システム」の実現を目指す

している。電力はお金と同様、「色が付かない」存在の代名詞で、配電システムに入ってしまうば、誰がつくった電力かは分からなかった。このシステムにより電力の産地表記ができ、消費者が自然エネルギーを選択的に利用したり、有名人が自分で作った電気をファンが購入したりするなど、これまでにない電気の利用法ができそうだ。

携帯電話のディスプレイに発信者の番号が出るのと同じ原理だ。この符号は、電気を蓄電しない限りは、電圧が変わっても消えることはないという。システムにも影響は与えない。スマートフォンの中にチップを組み込むなどして運用する。

この映画の副題「エネルギー・レボリューション」は実は日本向けのもの。原題は「エネルギー・アウトノミー」。つまり「エネルギーの自治」だ。



藤野電力（神奈川県の子民グループ）によるミニ太陽光発電の実験を楽しむ参加者たち

デモクラシー」が今年1月から日本で公開されている。2010年、ドイツで最も見られたドキュメンタリーだ。自主上映を中心に共感の輪が広がり、上映会は半年で100カ所に迫る勢いだ。配給元ユナイテッドピープル代表取締役の関根健次は「単に自然エネルギーの可能性を知ってもらうだけでなく、何か行動を起こすきっかけにつながる場にした」と語る。

「復幸マルシェ」にソーラー街路灯を寄贈する「第4発電所」プロジェクトに取り組んでいる。映画「第4の革命」のナビゲーターを務めるドイツ連邦議会議員（当時）のヘルマン・シエーアは、1990年の固定価格買い取り（FIT）制度、2000年には「再生可能エネルギー法」を制定させた立役者でもある。

この2つの法律の恩恵で、2001年にドイツ全電力のわずか2.9%しか占めていなかった自然エネルギーの割合は、2010年には17%にまで急成長し、2020年には35%に達すると予測されている（ドイツ貿易・投資振興機関調べ）。日本では、Qセルズなどドイツの太陽光パネルメーカーが破産したニュースばかりが報じられるが、その間にも、ドイツの自然エネルギーは着々とシェアを伸ばし続けている。「産業革命以来の最大の経済構造の変化が、我々の目の前にある」とシエーアは映画の中で語る。「第4の革命」とは、農業革命、産業革命、IT革命に続く「エネルギー革命」を意味する。

「第4の革命」の監督であるカール・A・フェヒナーは、昨年の来日時に「福島第一原発の事故がドイツの脱原発を加速させた。初の『緑の党』の州首相が誕生し、メルケル首相も脱原発に舵を切った」と誇らしげに語った。

FEATURE STORY

エネルギーと民主主義

「自立・分散」の幕開け

昨年の福島第一原発事故以来、日本の電力・エネルギー供給体制が大きく揺れている。電力の「地域独占」を始めとした中央集権的なシステムは、7月からの自然エネルギーの固定価格買い取り制度を機に、「自立・分散」の波に洗われよう。その背景には、政権の不透明な意思決定に危機感を覚える、多くの民意がある。いま、「エネルギーと民主主義」が深く問われている。

編集長=森 撰、編集部=吉田広子、赤坂祥彦、池田真隆、ドイツ=田口理穂、イタリア=粉川 妙、スイス=滝川 薫

過去50年で最多の署名へ

「国民生活を守るため、再稼働すべきだ」というのが私の判断だ」。野田佳彦首相が、関西電力大飯原発の再稼働について記者会見を開いた6月8日の午後、首相官邸前には4千人以上が集まり、再稼働反対のデモを繰り広げた。15日午前には、作家の大江健三郎らが首相官邸を訪れ、「さようなら原発1000万人署名」754万筆の一部を藤村修官房長官に手渡した。この署名活動は今年9月には、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）反対の署名数1100万筆強を追い抜く勢いだ。そうなれば、この50年の署名運動としては最多となる。その夜、首相官邸前で開催されたデモへの参加者は、1万1千人に達した。呼び掛け人の一人、ジャーナリストの鎌田慧は「議員総会も与野党協議も国会審議もなく、たった4人の大臣で再稼働を決めたのは、議会制民主主義を踏みにじる行為だ」

と憤る。

7月からの自然エネルギー固定価格買い取り制度を機に、いま日本では自然エネルギーに対する大型投資の発表が相次いでいる。

NTTは、子会社のNTTファシリティーズを通じて、2014年までにグループの遊休地などでメガソーラーを約30カ所稼働させる。総発電能力は6万キロワットに上り、単独企業では国内最大級となる。総投資額は150億円を見込んでいる。

ソフトバンクの孫正義氏は今年4月、自然エネルギーによる発電事業に対して3兆円の投資を行うと発表した。ソフバンクはメガソーラーだけではなく、風力発電に注力しており、特に洋上風力発電では原発3〜4基分に相当する400万キロワットの発電体制を目指している。

「第4の革命」が到来

自然エネルギーの普及を世界各地で追ったドイツ映画「第4の革命——エネルギー・